

【デバイス治療に必要な心臓構造－リードスペースメーカ治療を含めて－】

デバイス治療の大部分は血流のある心内腔にデバイスを挿入・留置する処置である。そこには、心臓構造ばかりでなく血流が大きく関与しているものと考えられる。様々な病態の中でリモデリングをきたした構造変化のある心臓では、その基本血流方向も自ずと変化しているものと考えられる。ここではデバイス治療に関係する心臓構造を振り返りながら、基本血流方向を意識したリードの挿入・留置を考えてみたい。さらには、リードスペースメーカ治療を可能とする構造的背景も考えたい。